



野里商店街
の北端



西に流れる
船場川



東から流れて
くる船場川



船場川

船場川を西へ
追っかけていく













防水堤に狭間
(さま、鉄砲
穴)が





桑原神社

前には「井出」または「出井」と
みえる。鎌倉室町時代は天皇家領
の国衙庄のうちにあつたと考えら
れる。

『播磨鑑』に当地は水が涌く
で井出、随願寺の旧地とある。『
峯相記』は元徳元年（一三二九）
洪水で被災した随願寺を白国山に
移したと伝える。『増位随願寺旧
記』に康和五年（一一〇三）白河
法皇の随願寺御幸の際、出井里の
住吉神社北に仮殿を造営したとい
い、『飾磨郡誌』は住吉神社を当
社とする。

境内には明和元年（一七六四）
の狛犬があり、姫路市内では珍し
い江戸狛犬とみられ最古のもの。
境内には宝暦五年（一七五五）の
石燈籠、享保六年（一七二一）の
手洗石がある。拝殿西の石燈籠に
は「享保三年 桑原大明神 播州
飾東郡 大野之江出井」の刻銘が
ある。

平成一四年一二月

姫路市教育委員会

KUWABARA-JINJA SHRINE

This shrine is the shrine of IDEI village. It was estimated that IDEI was the control ground of TENNO-KE in the Kamakura Muromachi era and there was ZUIGANJI temple here. There is rare KOMA-INU in 1764 in the grounds and it was made in most ancient times in Himeji-city.













